



特集紹介 現在のおすすめ図書コーナーの特集について紹介します

1. 犬・アニマルセラピー



災害救助犬、補助犬、セラピーアニマル…犬をはじめ、さまざまな動物たちが、私たちの生活の助けとなり、また心に潤いを与えてくれる存在となっています。

犬が好き！いや苦手…、犬より断然ネコ派！のあなたも、私たちの生活に深くかかわる動物たちの活躍をのぞいてみませんか？

新たな一面を知ること、街で出会う犬やネコに興味を湧くかもしれません。

2. 心理学



人の心とはとても曖昧なものです。

他人が見ることはもちろんできないし、「無意識」という言葉があるように、自分自身ですべてを知ることにはできません。

自分がどういう人間であり、心の奥で何を望んでいるのか。

困難を抱える人を援助する方法とは？

他者とよりよい関係を築くにはどうすればいいか、幸福とは何か—。

自分を、周囲の人たちとの関係を、心理学を通して見つめなおしてみませんか？



夏といえば怪談!?



とおのものがたり 『遠野物語』

『遠野物語』は、民俗学者の柳田 國男(1875-1962)が明治43年(1910年)に発表した説話集です。そのタイトルの通り、岩手県遠野地方に伝わる逸話、伝承などを記したもので、民俗学や昔話として貴重な内容であるとともに、文学作品としても優れています。

『遠野物語』の内容は、座敷童子や天狗、河童など神・妖怪に関するものや、神を祀る行事や風習に関するもの、神隠しや臨死体験に関するものなど多岐にわたります。

そのうちの一部を紹介します。

陸中海岸の山田では、毎年蜃気楼が見える。見えるのは常に外国の風景だという。見慣れない都の景色で、路上を馬車や馬が頻繁に行きかい、人の往来も絶え間なく、目をみはるばかりだという。そこに見える建物の形などは、毎年、寸分たがわず同じである。

他の土地の河童の顔は青いというが、遠野の河童の顔は赤い。

佐々木くん(※)の曾祖母がまだ幼かったころ、近所の友達と庭で遊んでいると、庭に生えていた3本のクルミの木の間から、真っ赤な色をした男の子の顔が覗いたことがある。河童だったのだろう。

※遠野地方の土淵村出身の佐々木 喜善。遠野地方に伝わる伝承を柳田に語った。

旧家にはザシキワラシという子どもの姿の神が住んでいることがあり、この神の住む家は栄えるという。

ある日、村の男が見慣れない2人の童女と会い、どこから来たかと問うと、ある旧家の名を挙げた。どこへ行くかと問うと、やや離れた村の家の名を挙げた。

それから間もなく、童女たちが去った旧家は不幸があり断絶したという。

童女たちが行き先として名を挙げた家は、今も豪農として栄えている。



図書館所蔵の『ちくま日本文学全集』は全60巻。第33巻には『遠野物語』をはじめとした柳田國男の著作が収められています(請求記号:918.6/C44/33)。

この夏、遠野地方の不思議な物語にひたり、また、自然や神、人間の生死、社会のありようなどについて、かつての日本人が何を思い、どのように考えていたかをぜひ感じてみてください☆



文学忌 ぶんがくき



「〇〇忌」という言葉を聞いたことがありますか？
作家の命日を、その雅号やペンネーム、代表作などにちなんで名づけ、その業績を偲ぶ日としたものです。

有名なものとしては、太宰治の「桜桃忌」(6月19日)、芥川龍之介の「河童忌」(7月24日)、正岡子規の「糸瓜(へちま)忌」(9月19日)。「瀬祭(だっさい)忌」ともなどがあります。

太宰治と芥川龍之介は、それぞれの作品『桜桃』と『河童』から、正岡子規の「糸瓜忌」は死の直前の句に糸瓜が詠みこまれたことから名づけられました。「瀬祭忌」は子規の別の雅号の一つ「瀬祭書屋主人」によります。

「この作家の命日は、なぜこの名称で呼ばれているのか？」という疑問も、文学作品を知り親しむきっかけになるかもしれませんね。また、作家の雅号の由来も興味深いものばかりですよ！

なお、近年亡くなった方では、漫画家・水木しげるの命日(11月30日)が調布市により「ゲゲゲ忌」と定められました。何にちなんで名づけられたかは…そう、代表作『ゲゲゲの鬼太郎』ですね！



記事: なおこ



* 今号のピックアップ *

小畑先生おすすめ！

新町 キラリ看護 川島みどり 498.14/Ka97

「看護の魅力はどこにあるのか。本当に一生続けられる価値がある仕事なのか。また、看護という職業は将来性があるのか」。

これから看護師をめざそうとする高校生、看護を学び続けている学生たち、そして新人看護師たちに、看護師を50年以上続けてきた一人の先輩として、ナイチンゲール記章受賞の著者が看護の魅力を伝える。

小畑先生より一言いただきました。

“私の看護観” “私のめざす看護師像”が見えてくる一冊です。

就職試験真っ只中の4年生のみなさん、面接や小論文対策にきっと役立つと思いますよ。

看護の世界に踏み込んだすべての皆さんにおすすめいたします。



小畑 千春(おばた ちはる)先生

研究分野:基礎看護学
「本の中に『感性は鍛えるもの』とあります。日々いろいろなことに感動し、言葉に発することで感性を磨いていきたいと思っている今日この頃です。」



前号のクイズの答え

第1問 A. チョウザメ (キャビアを生む魚ですね)

日本に漢字が入り始めたころ、
「中国の本によく出てくる『鮪』という魚は何だろう？」
「描写からしてかなり大きいようだが、大きくて珍重される魚ならマグロかな？」
「じゃあ『鮪』はマグロで決定！」
…と推測で決めたために、中国での『鮪』とは違う魚になってしまったそうです。



第2問 B. 街道沿いのアイス販売

ババヘラのアイスは、ピンクと黄色の2色がスタンダード。販売員はおもに中年以降の女性です。
オーダーすると、おばちゃん(ババ)がヘラでアイスをすくい、コーンに盛り付けてくれます。そう、ババがヘラでアイスを盛るから「ババヘラ」です！
なお、Aは「いぶりがっこ」、Cは「なべっこ遠足」です。

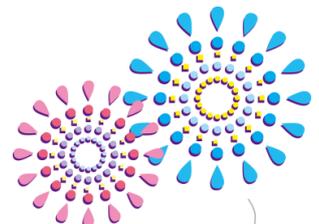
参考

- 第1問 「日本人の知らない日本語」(810.4/H51)
- 第2問 「秋田県民の謎」(361.42/G72)



秋田看護福祉大学附属図書館

〒017-0046 大館市清水2-3-4
TEL:0186-45-1785
<http://www.well.ac.jp/library/index.html>



❖開館時間 学期中 月曜～金曜 午前8時30分～午後7時00分
土曜 午前9時00分～午後5時00分
長期休業中 月曜～金曜 午前8時30分～午後5時10分

(このほか、試験期間中の延長開館や学内行事に関わる特別開館時間等があります。)

❖休館日 日曜・祝日、長期休業中の土曜、その他 館長の定める日